

第 21 回大和高田市立病院 ICLS コース報告

ICLS WG

- 日 時：平成 30 年 2 月 10 日（土）
- 対 象 者：全職種
- 参 加 者 数：受講者：18 名（看護師 13 名〔内院内 10 名〕 助産師 1 名 放射線技師 2 名〔院外救急隊 2 人〕 インストラクター 23 名 タスク 7 名 計 48 名
- ね ら い：突然の心停止に対する**最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生**を習得する
- 目 標：
 1. 有効な胸骨圧迫ができる
 2. 安全・迅速・確実な除細動を行うことができる
 3. 適切な酸素化をはかる方法を知ることができる
 4. チーム蘇生の大切さを知る

〈内容〉

当院開催の日本救急医学会認定 ICLS コースも今回で 21 回目を迎えました。

院外からの受講希望が多くあり、3 ブースでの開催となりました。今回のブース長は以前、当院の内科で勤務されていました奈良県立医科大学附属病院の中野知也先生にお願いしました。受講生の所属は 6 施設、4 職種の方々に情報交換の場にもなり有意義な時間を過ごすことができました。特に、印象的だったのは放射線技師の方で、「当直の際に救急の現場に立ち会うことが度々ありそこで自分には何か？質の高い関りをするためには何が必要なのか？を学びに来た。」と言われていた方がいました。医師でもなく看護師でもない職種で、意識の高い思いで参加されている方がおられることに嬉しく思いました。当院の参加者では、看護局のリーダー研修を受講した方で、「必要性を感じて受講した」と言われた方がおられました。他病院の救急科の看護管理者や救急病院で勤務される方もおられました。施設も違い、職種や勤務経験も違う方々が、コース終了時には自信に満ち溢れた顔でチームの一員として、それぞれの役割を成し遂げることができました。この学びが、日々の業務に繋がることを願っています。

また、他病院の医療安全の専従者や、当院の ICLS コースを参考にしたいといわれる病院の方も見学に来られており、当院のコースの存在が県内でも認められていることを感じる一日となりました。



次回開催は 6 月を予定しています。

みなさんおつかれさまでした！